

海保プチ情報

キャリアアップモデルコース



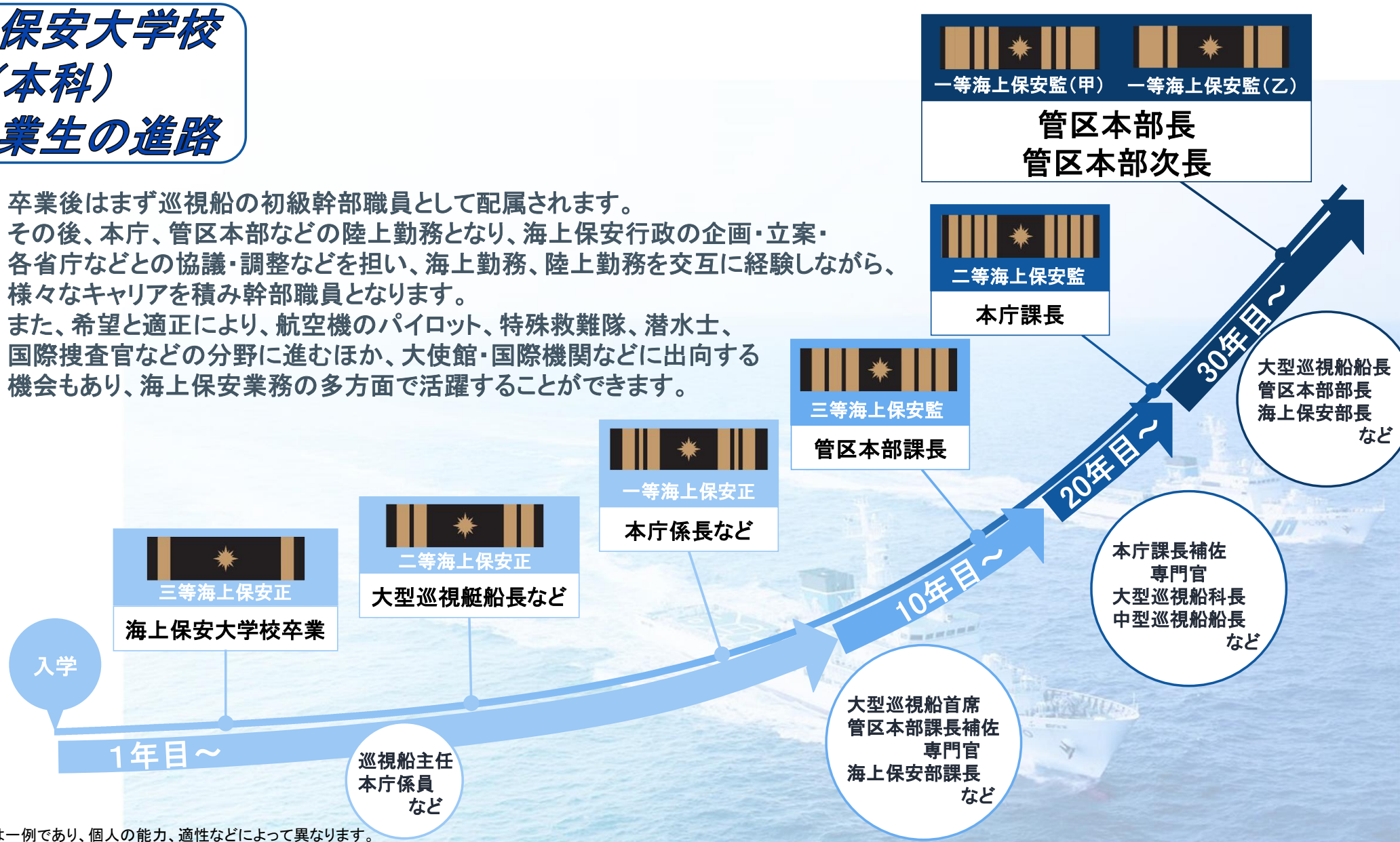
入庁希望者・就活中の方向けの情報掲載



海上保安大学校 (本科) 卒業生の進路



卒業後はまず巡視船の初級幹部職員として配属されます。
その後、本庁、管区本部などの陸上勤務となり、海上保安行政の企画・立案・各省庁などとの協議・調整などを担い、海上勤務、陸上勤務を交互に経験しながら、様々なキャリアを積み幹部職員となります。
また、希望と適正により、航空機のパイロット、特殊救難隊、潜水土、国際捜査官などの分野に進むほか、大使館・国際機関などに出向する機会もあり、海上保安業務の多方面で活躍することができます。



※モデルコースは一例であり、個人の能力、適性などによって異なります。

海上保安大学校(初任科) 特修科 修了生の進路



修了後、初級幹部職員として、日本全国の巡視船などに配属され、海上における治安の確保、海難救助、海洋環境の保全、海上交通の安全の確保などの業務に従事します。その後、本庁や管区海上保安部、巡視船などに勤務しつつ、幹部職員としての経験を積んでいくことになります。



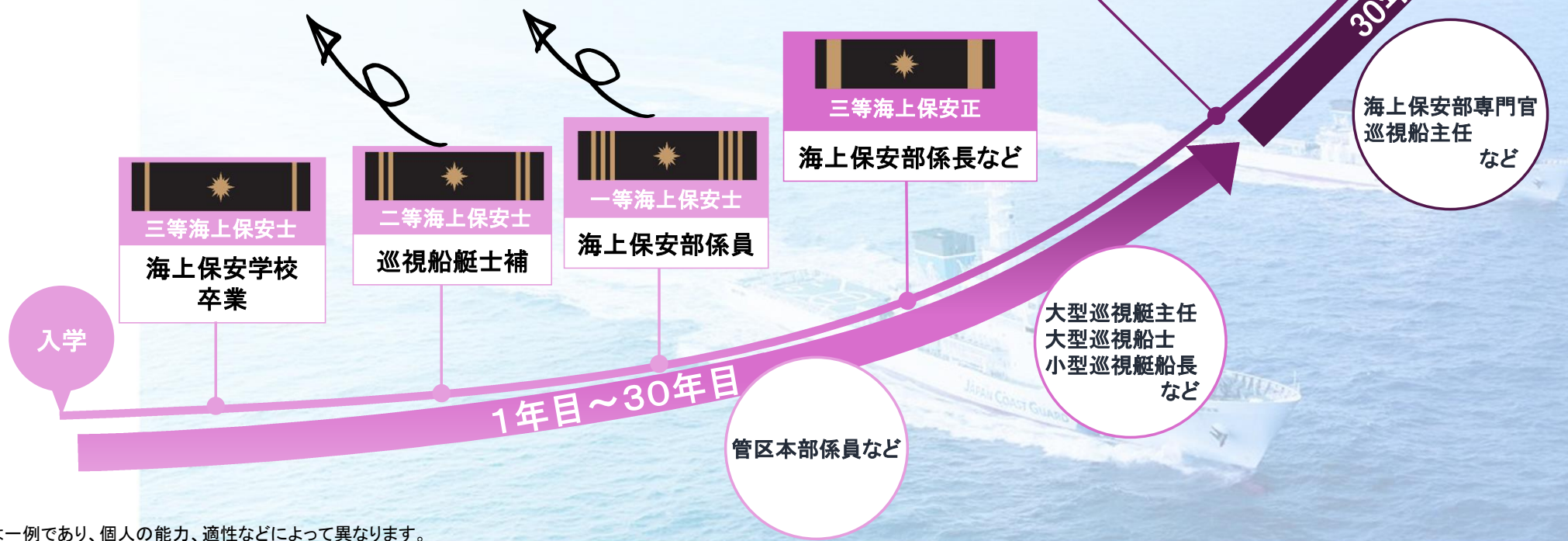
※モデルコースは一例であり、個人の能力、適性などによって異なります。

海上保安学校 (一般課程) 卒業生の進路

特修科へ(選考試験)



特修科は、海上保安学校卒業者などを幹部登用するための制度です。
研修内容…初級幹部に必要な素養を養うことを目的としており、
海上保安大学校において、1年または半年の研修を受けます。



※モデルコースは一例であり、個人の能力、適性などによって異なります。